

2016年度(平成28)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については<https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/prog.html> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
1 【7ページ】 龍谷大学の教育にかかる基本方針	文言の変更	<b>龍谷大学の教育にかかる基本方針</b> 建学の精神に基づいて、「平等」、「自立」、「内省」、「感謝」、「平和」の意味を深く理解し、豊かな人間性と共生(ともいき)の精神を涵養するとともに、人間教育、教養教育、専門教育を通じて、「広い学識」と「進取の精神」を持って人類社会に貢献する人間を育成する。	<b>龍谷大学の教育理念・目的</b> <u>建学の精神に基づき、「真実を求め、真実に生き、真実を顕かにする」ことのできる人間を育成する。</u> <u>龍谷大学の教育理念・目的を実現するため設置された学部・研究科は、広く社会に貢献できる教養教育と専門教育を体系的かつ組織的に行うにあたり、各学問分野の独自性を活かしつつ、社会の要請等を踏まえた教育理念・目的を掲げ、学位授与の方針、教育課程編成・実施の方針、入学者受け入れの方針を一体的に策定する。</u>	2017年3月
2 【13ページ】 休講・補講・教室変更情報について (3)公開の期間	文言の変更	(1)アクセス方法 <携帯電話(フィーチャーフォン)>  (3)公開の期間 <パソコン用> 休講:休講日を含めて30日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて30日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後30日分を表示しています。 <携帯電話(フィーチャーフォン)用> 休講:休講日を含めて3日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて30日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後30日分を表示しています。	(1)アクセス方法 <携帯電話>  (3)公開の期間 <パソコン用> 休講: <u>連絡が入り次第</u> 、休講日を含めて30日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて30日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後30日分を表示しています。 <携帯電話用> 休講: <u>連絡が入り次第</u> 、休講日を含めて2日前から公開しています。 補講:予定が入り次第、随時公開しています。 教室変更(臨時):変更日を含めて2日分を表示しています。 教室変更(恒常):変更日を含めて前後28日分を表示しています。	2017年3月
3 【16ページ】 4.履修登録制度	文言の変更	(2)履修登録の方法 第1学期履修登録は、第1学期開講科目と8月9日に開講される集中講義科目を登録します。	(2)履修登録の方法 第1学期履修登録は、第1学期開講科目と8月9日に開講される <u>サマーセッション</u> 科目を登録します。	2017年3月
4 【19ページ】 2.授業科目の開設方法	文言の変更	集中講義を利用して開講される科目については、下記の取り扱いとなります。 集中講義 第2学期(後期科目) 開講期間・開講場所については、履修説明会・掲示板・ポータルサイト(学内者向け)等で確認してください。	<u>サマーセッション</u> を利用して開講される科目については、下記の取り扱いとなります。 <u>サマーセッション</u> 第2学期(後期科目) 開講期間・開講場所については、履修説明会・掲示板・ポータルサイト(学内者向け)等で確認してください。	2017年3月
5 【21ページ】 2.履修登録制限単位数	履修登録制限単位数外の科目の追加	②集中講義に開講される科目  ⑥農学部専攻科目(全学科)のうち、以下の科目 「農学部インターンシップA」、「農学部インターンシップB」、「海外農業体験実習」、「特別研究」  ⑦農学部食品栄養学科専攻科目のうち、管理栄養士免許取得に関する以下の科目 「公衆栄養学Ⅱ」、「分子栄養学」、「臨床医学概論」、「臨床病態学」、「栄養評価論」、「栄養カウンセリング論」、「臨床栄養学Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅲ」、「臨床栄養管理学」、「公衆栄養活動論」、「給食経営管理論Ⅱ」	② <u>サマーセッション</u> に開講される科目  ⑥農学部専攻科目(全学科)のうち、以下の科目 「農学部インターンシップA」、「農学部インターンシップB」、「海外農業体験実習」、「特別研究」  ⑦農学部食品栄養学科専攻科目のうち、 <u>管理栄養士国家試験受験資格、食品衛生管理者および食品衛生監視員の資格取得</u> に関する以下の科目 「公衆栄養学Ⅱ」、「分子栄養学」、「臨床医学概論」、「臨床病態学」、「栄養評価論」、「栄養カウンセリング論」、「臨床栄養学Ⅱ」、「臨床栄養学Ⅲ」、「臨床栄養管理学」、「公衆栄養活動論」、「給食経営管理論Ⅱ」、「栄養疫学」、「食品加工学」、「スポーツ栄養学」、「有機化学」  ⑧ <u>その他 「海外英語研修」</u>	2017年3月

2016年度(平成28)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については<https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/prog.html> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月																			
6 【25ページ】 (3)履修辞退できない科目	文言の変更	【集中講義科目】	【 <u>サマーセッション</u> 科目】	2017年3月																			
7 【28ページ】 1)追試験の受験資格	受験資格 文言の修正	1)追試験の受験資格 ①病気や怪我、試験時における体調不良等による受験が出来なかった者。 ②親族(原則として3親等まで)の葬儀により受験ができなかった者。 ③後任サークルの公式戦に選手として参加することにより受験ができなかった者。 ④資格試験(公務員試験、公的資格試験等)や就職活動(説明会、筆記試験、面接等)により受験ができなかった者。 ⑤単位互換科目(大学コンソーシアム京都科目、放送大学科目、環びわ湖大学・地域コンソーシアム科目)の試験により受験ができなかった者。 ⑥インターンシップ実習(協定型インターンシップ、大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラム、農学部インターンシップA・B)により受験ができなかった者。 ⑦交通機関の遅延等により受験ができなかった者。 ⑧交通事故や災害等により受験ができなかった者。 ⑨裁判员制度による裁判员(候補者)に選任されたことにより受験できなかった者。 ⑩その他、学部教授会が特に必要と認めた者。	<u>追試験は次の各号のいずれかの理由により定期試験を欠席し、所属学部が認めると受験することができます。</u> ① <u>病気や怪我、試験時における体調不良等</u> ② <u>親族(原則として3親等まで)の葬儀への参列</u> ③ <u>公認サークルの公式戦への選手としての参加</u> ④ <u>交通機関の遅延等</u> ⑤ <u>交通事故、災害等</u> ⑥ <u>就職活動(説明会、筆記試験、面接等)</u> ⑦ <u>資格試験(公務員試験、公的資格試験等)の受験</u> ⑧ <u>単位互換科目の試験受験</u> ⑨ <u>インターンシップ実習(協定型インターンシップ、大学コンソーシアム京都インターンシップ・プログラムなど)又は博物館実習への参加</u> ⑩ <u>裁判员(候補者)への選任</u> ⑫ <u>その他所属学部が特に必要と認める理由</u>	2017年3月																			
8 【33ページ】 2)「仏教の思想」の履修について	再履修方法の修正	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学 期</th> <th>科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1学期(前期)</td> <td>「仏教の思想A」・「仏教の思想B」(再履修)</td> </tr> <tr> <td>第2学期(後期)</td> <td>「仏教の思想B」・「仏教の思想A」(再履修)</td> </tr> </tbody> </table>	学 期	科目名	第1学期(前期)	「仏教の思想A」・「仏教の思想B」(再履修)	第2学期(後期)	「仏教の思想B」・「仏教の思想A」(再履修)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年次</th> <th>セメスタ ー</th> <th>科目名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">2年次～</td> <td>3</td> <td>「仏教の思想 A」(正規クラスを再履修として履修)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>「仏教の思想 B」(正規クラスを再履修として履修)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3年次～ (※)</td> <td>5</td> <td>「仏教の思想 A」(正規クラスを再履修として履修) 「仏教の思想 B」(再履修クラス)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>「仏教の思想 A」(再履修クラス) 「仏教の思想 B」(正規クラスを再履修として履修)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(※) 3年次以上は、同一セメスターで、A・Bを同時履修することが可能です。</p>	年次	セメスタ ー	科目名	2年次～	3	「仏教の思想 A」(正規クラスを再履修として履修)	4	「仏教の思想 B」(正規クラスを再履修として履修)	3年次～ (※)	5	「仏教の思想 A」(正規クラスを再履修として履修) 「仏教の思想 B」(再履修クラス)	6	「仏教の思想 A」(再履修クラス) 「仏教の思想 B」(正規クラスを再履修として履修)	2017年3月
学 期	科目名																						
第1学期(前期)	「仏教の思想A」・「仏教の思想B」(再履修)																						
第2学期(後期)	「仏教の思想B」・「仏教の思想A」(再履修)																						
年次	セメスタ ー	科目名																					
2年次～	3	「仏教の思想 A」(正規クラスを再履修として履修)																					
	4	「仏教の思想 B」(正規クラスを再履修として履修)																					
3年次～ (※)	5	「仏教の思想 A」(正規クラスを再履修として履修) 「仏教の思想 B」(再履修クラス)																					
	6	「仏教の思想 A」(再履修クラス) 「仏教の思想 B」(正規クラスを再履修として履修)																					
9 【35ページ】 7. 日本語科目(留学生対象科目)の履修について	文言の変更	<b>履修単位の取扱い</b> 必修外国語科目として取扱い、4単位中2単位を必修外国語(2単位)として認定し、残り2単位を随意科目として認定する。	<b>履修単位の取扱い</b> <u>最大2単位を必修外国語として認定することができる。</u>	2017年3月																			
10 【42・48・54・64ページ】 専攻科目 開設科目(全学科)	配当セメスターの変更	「キャリア形成論」3年次前期	「キャリア形成論」3年次 <b>後期</b>	2017年3月																			

2016年度(平成28)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については<https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/prog.html> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
11 【69ページ】 協定型インターンシッププログラム	文言の追加	本学では、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして全学共通の協定型インターンシップを展開しています。このインターンシップは、建学の精神に基づききめ細かな事前・事後学習を展開する、本学独自の特色あるインターンシッププログラムです。	本学では、学生の自立とキャリア形成を支援する実践的な教育プログラムとして全学共通の協定型インターンシップを展開しています。このインターンシップは、建学の精神に基づききめ細かな事前・事後学習を展開する、本学独自の特色あるインターンシッププログラムです。 <b>また、20講以上に及ぶ事前・事後学習では、グループワークを中心として進行し、課題発見力や主体性、発信力や傾聴力といった社会で求められる様々な能力を身につけることができます。</b>	2017年3月
12 【73ページ】 矯正・保護課程	文言の変更	刑務所、少年院、少年鑑別所などで働く矯正職員、犯罪や非行をしてしまった人たちの社会復帰の手助けをする保護観察官等の専門職やボランティアとして活躍する人々を養成することを目的としています。	刑務所、少年院、少年鑑別所などで働く矯正職員を <b>めざす学生や</b> 、犯罪をおかしたりや非行をおこした人たちの社会復帰を手助けをする保護観察官等の専門職やボランティアを養成する <b>ために実務に即したプログラムを提供しています。</b>	2017年3月
13 【73ページ】 キャリア支援講座	講座の追加	<就職対策系> 就職筆記試験対策講座/エントリーシート対策講座  <資格系> (中略)基本情報技術者講座/MOS講座(Excel2013、Word2013)/社会福祉士国家試験講座/介護職員初任者研修講座/CAD利用技術者講座(2級)/色彩検定講座/ 秘書検定講座	<就職対策系> 就職筆記試験対策講座/エントリーシート対策講座/ <b>エアライン就職対策講座</b>  <資格系> (中略)基本情報技術者 <b>試験対策</b> 講座/MOS講座(Excel <b>2016</b> 、Word <b>2016</b> )/社会福祉士国家試験講座/介護職員初任者研修講座/CAD利用技術者講座(2級)/色彩検定講座/ 秘書検定講座/ <b>通関士資格対策講座/ITパスポート講座/リテールマーケティング(販売士)検定講座</b>	2017年3月
14 【73ページ】 RECコミュニティカレッジ外国語コース	文言の変更	<生涯学習講座「RECコミュニティカレッジ」の外国語コース> REC生涯学習講座「RECコミュニティカレッジ」の「外国語コース」では、入門から上級までレベルに応じた英語講座を多数開講しているほか、中国語、韓国語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語も開講しており、語学力を向上させ、正規の授業を補完できる内容となっています。 本学学生は割引価格で受講できます。詳しくはREC(京都・滋賀)の窓口で配布している「RECコミュニティカレッジパンフレット」をご覧ください。 ※「RECコミュニティカレッジ」では、「外国語コース」のほか、「仏教・こころ」「文化・歴史」など多様な講座を開講しています。	<生涯学習講座「RECコミュニティカレッジ」> 「RECコミュニティカレッジ」は、 <b>一般向けの生涯学習講座で、「仏教・こころ」「文化・歴史」「文学」「自然・環境」「くらしと健康」「現代社会」「外国語」の計7コースで様々な講座を開講しており、年間延べ1万人の方が学ばれています。</b> <b>正規授業の補完として、また、世代を超えて教養を深め交流する機会としてご活用下さい。</b>	2017年3月
15 【76ページ】 2. 保健管理センター	文言の追加	(1) カウンセラーに相談したい (2) 保健師・看護師に相談したい (3) 医師の診療を受けたい (4) 急な怪我をした (5) タバコをやめたい (6) 健康チェックをしたい (7) 健康診断 (8) 健康診断証明書・健康診断書発行について (9) AEDについて知りたい	(1) 緊急時には (2) 学校感染症に罹患した場合には (3) カウンセラーに相談したい (4) 保健師・看護師に相談したい (5) 医師の診療を受けたい (6) 急な怪我をした (7) タバコをやめたい (8) 健康チェックをしたい (9) 健康診断 (10) 健康診断証明書・健康診断書発行について (11) AEDについて知りたい	2017年3月

2016年度(平成28)年度 入学生対象 履修要項変更点

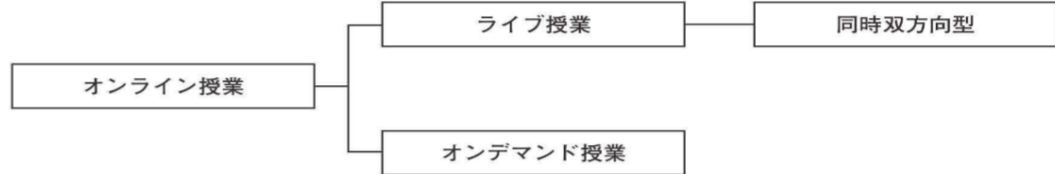
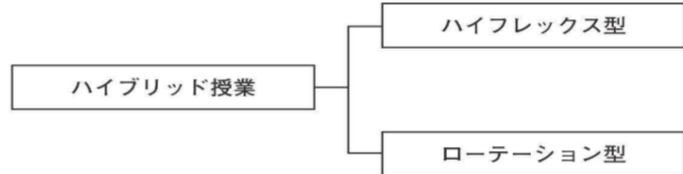
詳細については<https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/prog.html> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
16 【77ページ】 3. 障がい学生支援室	文言の追加	障がい学生支援室は、すべての学生が社会参加に向けて主体的に取り組むことを支援するという視点に立ち、障がいのある学生の学修や学生生活上の困難に対し、様々な相談、支援を行っています。また、障がいのある学生とサポートをする学生、その他すべての学生や教職員が互いに理解し、尊重し合える関係づくりを目指し、サポーター養成や研修会、交流会などにも取り組んでいます。詳しくは、本学HP「障がい学生支援」に掲載しています。  HPでは主に次の内容を掲載しています。 (1)障がい学生支援室について (2)支援を希望される方へ (3)支援の内容 (4)サポートスタッフに興味のある方へ (5)講座・イベント (6)よくある質問(Q&A) (7)規約	障がい学生支援室は、すべての学生が社会参加に向けて主体的に取り組むことを支援するという視点に立ち、障がいのある学生の学修や学生生活上の困難に対し、様々な相談、支援を行っています。また、障がいのある学生とサポートをする学生、その他すべての学生や教職員が互いに理解し、尊重し合える関係づくりを目指し、サポーター養成や研修会、交流会などにも取り組んでいます。詳しくは、本学HP「障がい学生支援」に掲載しています。 <a href="http://www.ryukoku.ac.jp/support/index.php">http://www.ryukoku.ac.jp/support/index.php</a>  HPでは主に次の内容を掲載しています。 (1)障がい学生支援室について (2)支援を希望される方へ(支援の内容、支援の申し出方法) (3)サポートスタッフに興味のある方へ (4)講座・イベント (5)よくある質問(Q&A)	2017年3月
17 【91ページ】 II 授業休止の取扱基準			詳細は、本学ホームページを参照してください。 <a href="http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/support/classinfo/disaster.html">http://www.ryukoku.ac.jp/campus_career/support/classinfo/disaster.html</a>	2017年3月
18 【104ページ】 農学部教員名簿	教員名簿の変更		※別紙「農学部教員名簿」参照	2017年3月
19 表紙 裏	履修要項WEBサイトURLの変更	<a href="http://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/">http://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/</a>	<a href="https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/">https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/</a>  【変更事由】 Google Chromeをはじめとする各社のブラウザは、よりわかりやすいセキュリティ情報を配信するために、HTTPSのWebサイトを「安全」、HTTPのサイトを「危険」と表示するシステムを導入しました。これに伴い、本学もHTTPSでWebサイトを表示できるように対応しました。	2019年3月
20 【22ページ】 履修登録制限単位数 下から17行目	「成績優秀者の履修登録制限単位数に関する特別措置について」追記		■成績優秀者の履修登録制限単位数に関する特別措置について (※入学年度にかかわらず全ての在学生在が対象です) 成績優秀者(履修登録をおこなう学期の直前学期の累積GPAが3.5以上の者)については、農学部が定める所定の手続きをおこなった場合、履修登録制限単位数を各学期2単位(4年次は前期の履修登録時に4単位)拡大して登録ができます。 本特別措置の対象者には農学部教務課から申請方法等の詳細をお知らせしますので、特別措置を希望する場合は申請をしてください。	2020年3月

2016年度(平成28)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については<https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/prog.html> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月																																																																																							
21【32ページ】 1 教養教育とは 下から11行目	(3)カリキュラムマップを追加		<p style="text-align: center;">専攻科目</p> <p style="text-align: center;">⇄</p> <p style="text-align: center;">教養教育科目 (「仏教の思想」科目、言語科目、教養科目)</p> <p style="text-align: center;">← 低年次      高年次 →</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="8">担当シメスター</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>1</th><th>2</th><th>3</th><th>4</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">「仏教の思想」科目</td> <td>仏教の思想 専</td> <td colspan="8">※専攻科目履修と重複する</td> </tr> <tr> <td>英語科目</td> <td colspan="8">外国語を履修した学生とコミュニケーション能力を高める</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">言語科目</td> <td>初級外国語科目</td> <td colspan="8">専攻科目履修とともに、効果的な学習環境を身に付ける</td> </tr> <tr> <td>人文科学系科目</td> <td colspan="8">人間の関心する文化や過去の経緯を学ぶ</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">教養科目</td> <td>社会科学系科目</td> <td colspan="8">現代社会の様々な課題において立ちあがらねばならない多様な問題を学ぶ</td> </tr> <tr> <td>自然科学系科目</td> <td colspan="8">社会人として必要な生活や社会活動を行う上に必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う</td> </tr> <tr> <td>スポーツ科学系科目</td> <td>スポーツ系科目</td> <td colspan="8">スポーツについての理解と社会的な実践力について学ぶ</td> </tr> </tbody> </table>			担当シメスター										1	2	3	4	5	6	7	8	「仏教の思想」科目	仏教の思想 専	※専攻科目履修と重複する								英語科目	外国語を履修した学生とコミュニケーション能力を高める								言語科目	初級外国語科目	専攻科目履修とともに、効果的な学習環境を身に付ける								人文科学系科目	人間の関心する文化や過去の経緯を学ぶ								教養科目	社会科学系科目	現代社会の様々な課題において立ちあがらねばならない多様な問題を学ぶ								自然科学系科目	社会人として必要な生活や社会活動を行う上に必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う								スポーツ科学系科目	スポーツ系科目	スポーツについての理解と社会的な実践力について学ぶ								2020年9月
		担当シメスター																																																																																									
		1	2	3	4	5	6	7	8																																																																																		
「仏教の思想」科目	仏教の思想 専	※専攻科目履修と重複する																																																																																									
	英語科目	外国語を履修した学生とコミュニケーション能力を高める																																																																																									
言語科目	初級外国語科目	専攻科目履修とともに、効果的な学習環境を身に付ける																																																																																									
	人文科学系科目	人間の関心する文化や過去の経緯を学ぶ																																																																																									
教養科目	社会科学系科目	現代社会の様々な課題において立ちあがらねばならない多様な問題を学ぶ																																																																																									
	自然科学系科目	社会人として必要な生活や社会活動を行う上に必要な科学的基礎知識と、論理的考察力、判断力を養う																																																																																									
スポーツ科学系科目	スポーツ系科目	スポーツについての理解と社会的な実践力について学ぶ																																																																																									

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月
<p>22 【21ページ】 3. オンライン授業について 下から8行目</p>	<p>オンライン授業の説明を追加</p>		<p><b>3. オンライン授業について</b></p> <p>本学では、対面にて授業を行う科目のほか、一部においてインターネット環境を利用してオンライン上で授業を行う科目があります。</p> <p>(1) オンライン授業の形態</p> <p>① オンライン授業の実施形態 本学では、次のようにオンライン授業の実施形態を区分しています。</p>  <pre> graph LR     A[オンライン授業] --&gt; B[ライブ授業]     A --&gt; C[オンデマンド授業]     B --&gt; D[同時双方向型]     </pre> <p>② オンライン授業と対面授業を組み合わせた形態 オンライン授業と対面授業を組み合わせた形態として、ハイブリッド授業があります。</p>  <pre> graph LR     E[ハイブリッド授業] --&gt; F[ハイフレックス型]     E --&gt; G[ローテーション型]     </pre> <p>(2) オンライン授業の定義</p> <p>① オンライン授業 本学におけるオンライン授業とは、インターネットを介して、文字・音声・静止画・動画等の多様な情報を、当該授業を行う教室等以外の場所にいる学生に対して配信し、設問解答や意見交換などを実施することにより、学修を進めていくもので、標準的な1コマ(1回分)のすべてを上記のような方法を用いて行う授業を指します。</p> <p>&lt;ライブ授業&gt; 上記オンライン授業の一形態としてライブ授業があります。ライブ授業とは、オンライン授業のうち、同時かつ双方向(教員と学生)で授業を行うものを指します。ライブ授業を詳細に分類すると「同時双方向型」と「同時一方向」に分かれますが、本学においては、双方向性が確保できる「同時双方向型」を指します。</p> <p>&lt;オンデマンド授業&gt; 上記オンライン授業の一形態としてオンデマンド授業があります。オンデマンド授業とは、オンライン授業のうち、予め収録した授業(動画・音声)や音声付PowerPoint動画等を配信し、あわせて課題指示等を行うものを指します。</p> <p>② ハイブリッド授業 オンライン授業と対面授業を組み合わせた授業形態としてハイブリッド授業があります。ハイブリッド授業には、2つの形態(ハイフレックス型、ローテーション型)があります。</p> <p>&lt;ハイフレックス型&gt; 対面授業をライブ配信することにより、オンラインとしても行う授業のことを指します。 (例) 対面希望の学生とオンライン希望の学生を2グループに分けて実施する授業。</p> <p>&lt;ローテーション型&gt; 全開講回数のうち、各回によって対面とオンラインを使い分ける授業のことを指します。 (例) 全15回のうち、4回目～11回目をオンラインで実施し、その他は対面で実施する授業。</p> <p>(3) オンライン授業科目</p> <p>① オンライン授業科目とは オンライン授業として実施する科目のうち、オンラインでの授業回数など一定の要件を満たした科目は開講学部等において「オンライン授業科目」として位置づけています。</p> <p>② オンライン授業科目の履修要件 オンライン授業科目は、60単位を上限に卒業要件単位数として単位認定されます。60単位を超えて修得したオンライン授業科目は随意科目(卒業要件単位数には含まない)として単位認定されます。</p> <div data-bbox="1596 1549 2353 1675" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>&lt;龍谷大学学則&gt;(抜粋)</p> <p>第25条の2 授業は、講義、演習、実験、実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行うものとする。</p> <p>2 前項の授業は、多様なメディアを高度に利用して、当該授業を行う教室等以外の場所で履修させることができる。</p> <p>3 第34条の規定により卒業の要件として修得すべき単位数のうち、前項の授業の方法により修得する単位数は60単位を超えないものとする。</p> </div> <p>※新型コロナウイルス感染症に対応した特例 新型コロナウイルス感染症の影響により対面での授業実施が困難(一部のみの対面での授業実施を含む)と大学が判断した場合のオンライン授業科目は、卒業要件単位となる単位数の上限(60単位)に含みません。</p> <p>(4) オンライン授業を受講するにあたって オンライン授業は、以下の情報環境を準備した上で受講してください。</p> <p>① 自身所有のノートパソコン等を利用する</p>	<p>2022年4月</p>

2016年度(平成28)年度 入学生対象 履修要項変更点

詳細については<https://cweb.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/prog.html> 参照

変更箇所	変更内容	変更前	変更後	変更年月	
			<p>農学部では、学生の情報処理・活用スキルの向上をめざして、パソコンを利用する授業を多く実施しています。また、授業時間内外の様々な場面でパソコンを活用することが必要となることから、携行が容易なノートパソコン等のデバイスを所有することとしています。</p> <p>ノートパソコン等の仕様については、以下のウェブサイトを確認し準備してください。</p> <p>・農学部ノートPC等の必携化 <a href="https://www.agr.ryukoku.ac.jp/about/byod.html">https://www.agr.ryukoku.ac.jp/about/byod.html</a></p> <p>※必要なスペックを満たすノートパソコン等をすでに所有している場合は新たに用意する必要はありません。</p> <p>※本学ではMicrosoft社との包括ライセンス契約により、在学中は無料でOfficeソフト（Word, Excel, PowerPointなど）が利用可能です。Office付属のノートパソコンやOfficeのライセンスを用意いただく必要はありません。</p> <p>② キャンパス内の施設・機器を利用する                      キャンパス内の施設や機器を利用し、オンライン授業を受講することができます。</p> <p>○ スチューデントコモンズでノートパソコンの貸し出しを受ける。【学内利用に限る】                      深草キャンパス：和顔館1階スチューデントコモンズ（ラーニングサポートデスク）                      大宮キャンパス：東養2階スチューデントコモンズ（PC貸出カウンター）                      瀬田キャンパス：智光館地下1階情報メディアセンター</p> <p>○ セルフラーニング室のパソコンを利用する。                      深草キャンパス：5号館3階                      大宮キャンパス：清風館1階                      瀬田キャンパス：3号館地下1階</p> <p>(5) オンライン授業科目の確認方法                      オンライン授業科目はポータルサイト（履修登録画面）及び龍谷大学履修要項WEBサイトにて確認することができます。</p> <p>・本学履修要項WEBサイト                      (URL) <a href="https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/rishu.html">https://monkey.fks.ryukoku.ac.jp/~kyoga/rishu/rishu.html</a></p>		
23 【28ページ】 11 追試験 下から18行目	交通遅延証明書としてWEB発行証明書を可とする旨の変更	<p>追試験受験希望者は、追試験受験願および欠席理由証明書（医師診断書、交通遅延証明書または事故理由書、就職試験等による場合は会社あるいは団体が発行する証明書等）をその科目の試験日を含めて4日以内（土・日・祝日は含めない。ただし、土曜日が試験日の場合は試験当日を含む4日以内）に農学部教務課窓口へ提出しなければなりません。</p> <p>交通遅延証明書のうち、Web発行によるものは本人が乗車したことを証明するものではありませんので、欠席理由の証明書として、本学では取り扱いできません。</p> <p>交通遅延証明書は「本人が乗降した際に各駅にて受け取る事ができるもの」のみを証明書として取り扱います。</p>	<p>追試験受験希望者は、追試験受験願および欠席理由証明書（医師診断書、交通遅延証明書（WEB発行の証明書可）または事故理由書、就職試験等による場合は会社あるいは団体が発行する証明書等）をその科目の試験日を含めて4日以内（土・日・祝日は含めない。ただし、土曜日が試験日の場合は試験当日を含む4日以内）に農学部教務課窓口へ提出しなければなりません。</p>	2022年4月	
24	履修要項全体	名称変更	<p>予備登録 事前登録 本登録</p>	<p>抽選登録 選抜登録 オープン登録</p>	2025年4月
25	P81	文言追加	—	<p>5.休学と復学に以下の内容を追記</p> <p>(5)復学した際のカリキュラム                      復学した者については、休学前と同様のカリキュラムをそれぞれ適用します。</p>	2025年4月
26	P82	文言修正	<p>(4)再入学を願う時は、学費等納入規程に定める受験料を納め、所定の期間内に手続きをしなければなりません。なお、出願期間、出願書類等については入試部に問い合わせてください。</p>	<p>(4)再入学を願う時は、学費等納入規程に定める受験料を納め、所定の期間内に手続きをしなければなりません。なお、出願期間、出願書類等については入試部に問い合わせてください。</p> <p>なお、再入学した者については、原則として、入学を認められた学年の他の在學生と同様のカリキュラムを適用します。</p>	2025年4月
27	P82	文言修正	<p>③他の大学へ転学を希望する学生は、学長に願い出てその許可を受けなければならない。(学則18条の3)</p> <p>※本学の他学部(学科・専攻)への転入学の場合は、学則19条に基づく退学の手続きが必要となります。</p>	<p>③他の大学へ転学を希望する学生は、学長に願い出てその許可を受けなければならない。(学則19条)</p> <p>※本学の他学部(同一学部内の他学科・専攻を含む)への転入学の場合は、学則19条に基づく退学の手続きが必要となります。また、編転入学した者のカリキュラムは、編入学または転入学した年度ではなく、入学を認められた学年の他の在學生と同様のカリキュラムを適用します。</p>	2025年4月